

質疑(応答記録)

公告No. : No.215 公告日 : 平成29年9月13日

工事名(件名) : 文化会館大規模改修工事

整理番号	質 疑 事 項	回 答
	(共通)	
1	S-108~132図 第1・第2ホールのステージ上部の柱頭補強鉄骨ですが、部材の搬入に伴い、ステージ廻りの撤去・復旧が必要でしょうか。必要な場合は、施工範囲をご指示下さい。	不要です。
2	S-108~132図 上記に続きますが、柱頭補強鉄骨の仕上塗装(SOP)の有無が不明です。ご指示下さい。	錆止塗装のみです。仕上塗装はありません。
	(共通 構造)	
3	特A-6・A-082・115図 構造特記仕様書-1の8. 3章:コンクリート工事:09に於いて、普通コンクリートの品質管理に強度・スランプ値・高性能AE減水剤の適用箇所が「床」と指示があり、壁の指示がありません。壁のコンクリートは、床と同仕様としてよろしいですか。	よろしい。
4	鉄骨錆止め塗装の仕様が相違しています。 ・特A-7図 構造特記仕様書-2の8. 5章:鉄骨工事:20 — JIS K5674 ・A-002図 仕上特記事項:12. 仕上材料名表示凡例 — JIS K5551(エポキシ樹脂系) JIS K5674を正としてよろしいですか。	仕上げに応じて錆止め塗装が変わります。どちらの特記も正となります。
5	特A-7図 上記に於いて、JIS K5674が正の場合は、鉄骨錆止め塗装の塗装回数、工場2回+現場タッチアップ2回としてよろしいですか。	錆止め塗装回数については、特記仕様書に示すとおりとする。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
6	<p>A-002図 上記に於いて、JIS K5551が正の場合は、下記をご指示下さい。 ①エポキシ樹脂系(ハイボン)の品番 ②下地処理の程度 ③工場、現場毎の塗装回数</p>	<p>①メーカーの指定はありません。使用材料承認願を提出のうえ、承認します。 ②③特記仕様書によります。なおDP塗装の場合、JIS K5551となります。詳細は建築改修工事標準仕様書に準ずる。</p>
7	<p>特A-7図 構造特記仕様書-2の8.5章:鉄骨工事:21に於いて、耐火被覆の種類で「e. 発泡性耐火塗料塗り」の指示がありますが、図中に指示がありません。必要な場合は、施工範囲をご指示下さい。</p>	<p>該当箇所無しとします。</p>
8	<p>A-060・065・066図 便所改修 平面詳細図・天井伏図・展開図2・7・8に於いて、復旧スラブの型枠施工方法ですが、在来型枠にて施工し、コンクリート打設後に取外しとしてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
9	<p>A-115図 部分詳細図5(便所改修)のD-038に於いて、和便器撤去部にあと施工アンカー(金属拡張型)の指示がありますが、打込み方式or締付け方式が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>打込み方式とする。</p>
10	<p>A-115図 部分詳細図5(便所改修)のD-038に於いて、和便器撤去部にあと施工アンカー(金属拡張型)D13@200縦横共の指示がありますが、シングルを図示です。スラブ厚T270の場合は、ダブルとしてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
11	<p>A-115図 部分詳細図5(便所改修)のD-042~D-044に於いて、接着系アンカーの定着長が不明です。20d程度としてよろしいですか。</p>	<p>S-01 あと施工アンカー特記仕様書による。</p>
12	<p>A-115図 部分詳細図5(便所改修)のD-043に於いて、スラブ筋の継手にフレア溶接の指示がありますが、施工箇所が不明です。スラブ1か所につき、1か所継手(フレア溶接)を見込むとしてよろしいですか。</p>	<p>施工箇所はスラブ開口閉塞箇所を図面による。開口周囲にあと施工アンカーを行い、同位置の後施工アンカー筋をフレア溶接で接続する。(同位置のアンカー筋につき1箇所)</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
13	<p>A-115図 部分詳細図5(便所改修)のD-044に於いて、スラブ筋の接続が接着系アンカーとフレア溶接の2種類ありますが、使い分けが不明です。既存取合いは全て接着系アンカーとしてよろしいですか。</p>	よろしい。
14	<p>スラブ鉄筋コンクリートのスランプ値が相違しています。 ・特A-6図 構造特記仕様書-1の8.3章:コンクリート工事:09 — S18 ・A-115図・部分詳細図5(便所改修) — S15 S18を正としてよろしいですか。</p>	よろしい。
15	<p>鉄筋コンクリートの強度が相違しています。 ・特A-6図・設計図(構造特記仕様書-1の8.3章:コンクリート工事:09他) — 設計基準強度21N ・参考数量書 2ホール便所改修 躯体改修(改修(第2ホールロビー1))他 — 呼び強度21 設計基準強度21Nを正としてよろしいですか。</p>	よろしい。
	(共通 外部)	
16	<p>参考数量表に於いて、下記の項目がありますが、図示がありません。参考数量表通りとしてよろしいですか。 ①防水改修 防水改修 改修 — 庇塗膜防水 ②防水改修 防水改修 改修 — 庇コンクリート直均し仕上げ ③外壁改修 外壁改修 改修 — 庇先端金物</p>	A-114図 D-025,026参照。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
17	<p>下記のメーカー・品番が不明です。ご指示下さい。</p> <p>A-003図①屋根1 改質アスファルト防水(ASI-T1 M3ASI工法) A-003図②屋根2 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2 L4X工法) A-003図③屋根3 改質アスファルト防水(AS-T3 M3AS工法) A-003図④屋根5 合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2 S3S工法) A-003図⑤ルーフトレイン 改修用ドレン アルミドレンキャップ(縦型、横型共) A-003図⑥外壁A 既存外壁磁器質タイルA A-003図⑦既設階段及びテラス床 ウレタン樹脂系塗床 A-083図⑧既設外壁タイル面 特殊繊維強化アクリル樹脂塗布 A-093図⑨ホール棟屋根他 既設アルミ化粧笠木 A-093図⑩会議管理棟屋根他 既設アルミ笠木</p>	<p>メーカーの指定はありません。使用材料承認願を提出のうえ、承認します。</p>
	(共通 内部)	
18	<p>参考明細書に計上あります下記の項目が図面では指示が無く不明です。詳細・範囲等をご指示下さい。</p> <p>①第1ホール改修 ホール下り壁軽量鉄骨天井下地@300 ②第2ホール改修 ホール天井軽量鉄骨天井下地@300 ③第2ホール改修 ホール天井(壁際)塞ぎ板W40×H30 ④第2ホール改修 ホール天井(壁際)塞ぎ板W40×H30 曲面 ⑤第2ホール改修 耐火間仕切(LGS100) ⑥便所改修 軽量鉄骨間仕切壁@300 ⑦第2ホール便所改修 軽量鉄骨間仕切壁@300</p>	<p>①シーリングスポット室 壁部とする。 ②シーリングスポット室 天井部とする。 ③、④A-111図 D-005による。 ⑤映写室客席側上部壁 ⑥、⑦各所便所平面詳細図による。</p>
19	<p>天井仕上化粧石膏ボードの厚さが相違しています。 A-004・005図他 内部仕上表2・3 — T9.5 特A-003図 特記仕様書(改修3) — T12.5 T9.5を正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
20	<p>上記の質疑の化粧石膏ボードは不燃としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
21	<p>A-059他・007図 便所改修 平面詳細図・天井伏図・展開図1他に於いて、改修後のRC壁面(仕上撤去跡)の壁凡例がLGS3:LGS+特殊弾性接着剤と指示がありますが、エレメント図2(便所改修)LGS3:乾式軽量ふかし壁の詳細では、乾式軽量スタッドの指示です。UL工法(ULスタッド)としてよろしいですか。</p>	<p>エレメント図2を正とする。</p>
22	<p>LGS2・3の壁下地が相違しています。 A-007図 エレメント図2 — 耐水石膏ボードT12.5 A-059図他 便所改修 平面詳細図・天井伏図・展開図1 — 耐水合板T12 耐水石膏ボードT12.5を正としてよろしいですか。</p>	<p>耐水合板t=12を正とします。</p>
23	<p>A-004・005・115図 内部仕上表2・3に於いて、改修前男子便所1(客用)他床に防水の指示がありますが、部分詳細図5(便所改修):D-038 和便器撤去部分の床コンクリートスラブ撤去部防水立上りの納まり詳細が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>改修で防水立ち上がりは施工しません。 改修後の床は乾式になります。</p>
24	<p>A-002・003図 仕上特記事項:12. 仕上材名表示凡例に於いて、ビニル床シートがA・Bの2種類ありますが、内部仕上表1では、下記のビニル床シートがA・B何れに該当するか不明です。ご指示下さい。 ①第1ホール客席 ②第2ホール客席 ③廊下1</p>	<p>①②③共ビニル床シートBです。</p>
25	<p>A-003図 外部、内部仕上表1に於いて、第1ホール投光室及び第2ホール映写室・控室・投光室・シーリングスポット室の床:タイルカーペット新設にフェルト下地の指示がありません。第2ホール投光室・シーリングスポット室は鋼板面の為、第1ホールのシーリングスポット室と同様にフェルト下地が必要とし、その他は不要としてよろしいですか。</p>	<p>タイルカーペット新設部はすべてフェルト下地が必要です。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
26	<p>A-029・035図 第2ホール改修 矩計図1(改修後)・断面詳細図4(現況・改修後)に於いて、第2ホール映写室下部の改修後天井下地:有孔ケイカル板T8の孔径・ピッチが「8φ@16」とありますが、その他の壁・天井有孔ケイカル板には孔径・ピッチの指示がありません。第1ホール・第2ホール共に、有孔ケイカル板は全て8φ@16としてよろしいですか。</p>	よろしい。
27	<p>A-002・048図 仕上特記事項に於いて、特定天井の適用箇所がロビー・エントランスとありますが、第1ホールロビー改修 矩計図3(改修後)では、ロビーの天井が、「耐震吊り天井」と「準構造天井」の指示があります。特定天井で仕様が「耐震吊り天井」と「準構造天井」の2種類あるとしてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。 第1ホールロビーの天井は「耐震吊り天井」と「準構造天井」の範囲に分かれています。</p>
28	<p>A-048図 上記質疑の「耐震吊り天井」と「準構造天井」の指示があります。「耐震吊り天井」と「準構造天井」の仕様・詳細が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>耐震吊り天井:A-051図による。 準構造天井:構造図による S-60~74</p>
29	<p>A-002図 仕上特記事項に於いて、特定天井の適用箇所がロビー・エントランスとありますが、第1ホール・第2ホールも、高さ6.0mを超え、200m²を超える為、特定天井に該当すると思われます。特定天井の仕様をご指示下さい。</p>	第1ホール・第2ホールは、準構造天井になります。
30	<p>A-022・039図 第1・2ホール改修 天井伏図(改修後)に於いて、仕上凡例に⑥見切縁:木製 内装薄塗材Eとありますが、天井伏図上で⑥が指示ありません。必要な場合は施工範囲をご指示下さい。</p>	A-022 X6-X7間にて⑥の箇所があります。
31	<p>— 消火器及び消火器ボックスに於いて、下記を改修区分毎ご指示下さい。 ①消火器の工事区分及び設置数 ②消火器ボックスの有無 ③消火器ボックスがある場合は、埋込型・床置き型の区分及び設置数 ④紹介ボックスがある場合は、同等メーカー・品番</p>	消火器は工事対象外です。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
32	<p>下記の既存仕上の厚さが不明です。ご指示下さい。</p> <p>A-003~005図 ①【ホール・投光室他】床:ビニルタイル A-003~005図 ②【廊下他】床:長尺ビニルシート A-005図 ③【ホワイエ(WC前通路)】床:ゴムタイル</p>	<p>ビニル床タイル、長尺ビニルシートt2.0程度、ゴムタイルはt5.0程度とする。</p>
33	<p>A-002図 仕上特記事項に於いて、10. 特記事項の便所改修工事に「手摺・チャイルドシート等の取付部は下地補強する事」とありますが、下地補強の様子が不明です。耐水合板T12としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。なお、取り付け機器の強度確保に必要な補強を原則とする。</p>
34	<p>水廻り雑物取合い部のシーリングの様子が相違しています。</p> <p>・A-002図 仕上特記事項 — SR-1 ・A-115図 部分詳細図5(便所改修):D-036ライニング面台 — MS-2 SR-1を正としてよろしいですか</p>	<p>よろしい。</p>
35	<p>A-002図 上記の質疑に関連しますが、内部雑物取合いシーリングは、下記としてよろしいですか。</p> <p>・水廻り:寸法5×5 ・水廻り以外:変成シリコン2成分形10×10 ・石及びタイル類:ポリサルファイド系2成分形5×5</p>	<p>シーリング幅は図面による。</p>
36	<p>下記のメーカー・品番が不明です。ご指示下さい。</p> <p>・特A-003・A-115図 ①トイレブース(高圧メラミン化粧板) ・特A-003図 ②階段滑り止め(ステンレスW35 ビニルタイヤ入り) ・特A-004図 ③天井点検口(アルミ 額縁タイプ) ・特A-004図 ④床下点検口(ステンレス 受け枠ステンレス)</p>	<p>メーカーの指定はありません。使用材料承認願を提出のうえ、承認します。</p>
37	<p>A-114図 部分詳細図4に於いて、D-028:天井開口リストの電気設備・機械設備の各々に「点検口」とありますが、寸法が不明です。450角でよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
38	A-114図 部分詳細図4に於いて、D-028:天井開口リストに「トイレ」欄がありますが、トイレの改修が「2ホール便所改修」と「便所改修」の2つに分かれる為、振分け数量が不明です。「2ホール便所改修」と「便所改修」の振分け数量をご指示下さい。	2ホール便所改修分として、電気設備7箇所、機械設備2箇所とする。
39	A-123図 サイン計画図に於いて、下記の現状の寸法・仕様が不明です。ご指示下さい。 ①第1・2ホールロビー 案内サイン ②エントランスホール 案内サイン	図示のとおり。 既設サインと同サイズ、同仕様程度とします。
40	下記のメーカー・品番が不明です。ご指示下さい。 A-004図 ①【第4ホール他】壁 クロス貼 A-004図 ③【第4ホール他】天井 岩綿吸音板T12	メーカーの指定はありません。使用材料承認願を提出のうえ、承認します。
	(共通 建具)	
41	特A-004図 特記仕様書(改修4)に於いて、SOPの鋼製建具塗替A種の指示ですが、鋼製建具はDP塗替です。SOP塗替の必要な建具は不要としてよろしいですか。	よろしい。
42	A-076・077図 LSD等に於いて、仕上が焼付け塗装の指示ですが、枠の仕上げも焼付け塗装でよろしいですか。	よろしい。
43	A-023・040・077 ホール・音漏れ対策撤去建具に於いて、SDの沓摺の有無が不明です。沓摺は有りと判断してよろしいですか。	よろしい。
	(第1ホール改修 構造)	
44	S-30・06~26図 第1ホール新設部材リストに於いて、oB6の備考欄に「あと施工アンカー、BPL-22×200×200、無収縮モルタルT30、モルタル剥離防止PL-6」の指示がありますが、部材の使用場所が不明です。必要な場合は、施工場所をご指示下さい。	2階客席下天井受け材(S-16、S-36参照)
	(第1ホール改修 内部)	

整理番号	質 疑 事 項	回 答
45	<p>A-003・015～017図 外部、内部仕上表及び第1ホール改修 矩計図(現況・改修後)に於いて、第1ホール客席の現況・改修後床仕上が「ビニル床タイル、カーペット敷き」の2種類記載ありますが、それぞれの施工範囲が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>通路部及び階段部の踏面はタイルカーペット敷き。 客席椅子部分及びオーケストラピット床部分はビニル床タイルとする。</p>
46	<p>A-016図 第1ホール改修 矩計図1(改修後)に於いて、X8～9通り仕切幕収納部の側面H2, 155分及び天端に「グラスウールボードT50 ガラスクロス押え LGS下地」とありますが、グラスウールボード下地の指示がありません。収納部側面下部H625分と同様に側面・天井共にPB9. 5+12. 5下地が必要としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
47	<p>第1ホール:投光室下部の現況天井仕上が相違しています。 A-015図 第1ホール改修 矩計図(現況) — PB9. 5+AEP 有孔ケイカル板T6+グラスウールT50 A-021図 第1ホール改修 天井伏図(現況) — PB9. 5+AEP PB9. 5+AEP 有孔ケイカル板T6+グラスウールT50を正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
48	<p>第1ホールY3・Y8通り壁際の幕板:スチールPL-1. 6(H200)の表面仕上が相違しています。 A-017図 第1ホール改修 矩計図2(改修後) — SOP A-111図 部分詳細図1:D-005(A部詳細) — SOP A-111図 部分詳細図1:D-005 — 焼付塗装 SOPを正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
49	<p>第1シーリングスポット室の改修後天井高さが相違しています。 A-003図 外部、内部仕上表1 — 2, 200 A-016図 第1ホール改修 矩計図1(改修後) — 2, 200 A-111図 部分詳細図1:D-003 — 2, 300 2, 200を正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
50	<p>第2シーリングスポット室の改修後天井高さが相違しています。 A-003図 外部、内部仕上表1 — 2, 200 A-016図 第1ホール改修 矩計図1(改修後) — 2, 200 A-111図 部分詳細図1:D-002 — 2, 100 2, 200を正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
51	A-024図 第1ホール改修 キャットウォーク平面図2(現況)に於いて、X7~8通り間のすのこ上にキャットウォークと思われる図示が両側にありますが、床レベルが不明です。すのこ天端+750程度としてよろしいですか。	よろしい。
52	A-024図 第1ホール改修 キャットウォーク平面図2(現況)に於いて、すのこ周囲の手摺の有無が不明です。キャットウォークの手摺と同等のものがあるとしてよろしいですか。	無しとする。
53	A-111図 部分詳細図1に於いて、D-003:第1ホール第1シーリングスポット室の既設貫通部カバープレート廻りにシーリングの指示がありませんが、D-002:第1ホール第2シーリングスポット室の既設貫通部カバープレート廻り同様に「4周シーリング(MS-2)W10」が必要としてよろしいですか。	よろしい。
(第1ホール改修 建具)		
54	A-111・044図 第1ホール投光室のSW-1に於いて、縦方向の額縁の有無と額縁の寸法が不明です。上額縁と同様のW286にて必要としてよろしいですか。	よろしい。
55	A-111・044図 上記の質疑に於いて、額縁の厚さが不明です。スチールT1.6としてよろしいですか。	よろしい。
56	A-111・044図 第1ホール投光室のSW-1に於いて、下部の面台には既設柱周りにシーリングの指示ですが、上額縁には指示がありません。上額縁には必要でよろしいですか。	よろしい。
(第2ホール改修 構造)		
57	A-112図 部分詳細図2のD-008:第2ホール映写室に於いて、床ALC版~梁天端の取合いに嵩上げ鋼材の図示がありますが、部材メンバーが不明です。C-100×50×20×2.3程度としてよろしいですか。	よろしい。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
58	<p>A-112図 上記に続きますが、映写室の屋根ALC版にも同様の受け鉄骨(C-100×50×20×2.3程度)が必要としてよろしいですか。</p>	よろしい。
59	<p>S-55・56図 第2ホール雑詳細図(1)に於いて、tB1~Tb9のベースプレート部分に「PL-6モルタル剥離防止」の指示がありません。第2ホール雑詳細図(2)のtB3bに倣い、横向き施工の場合は「PL-6モルタル剥離防止」が必要としてよろしいですか。</p>	よろしい。
60	<p>S-55図 第2ホール雑詳細図(1)に於いて、tB9のベースプレート寸法が相違しています。 ・姿図 — B. PL-22×250×300 ・指示寸法 — B. PL-22×220×300 B. PL-22×250×300を正としてよろしいですか。</p>	よろしい。
61	<p>S-56図 第2ホール雑詳細図(2)に於いて、tV7のベースプレート寸法が相違しています。 ・姿図 — B. PL-32×400×400 ・指示寸法 — B. PL-32×350×400 B. PL-32×400×400を正としてよろしいですか。</p>	よろしい。
(第2ホール改修 内部)		
62	<p>S-37・39・50図 第2ホール改修前M4(1~3)FL伏図に於いて、2G・2H通りにRC壁撤去が指示ありますが、Y10・14A通り(一部2G・2H通り)軸組図他で撤去範囲・カッター入れの範囲が指示ありません。撤去範囲が分かる軸組図をご提示下さい。</p>	<p>M3FLの撤去範囲はS-50による。 M4(1FL)(2FL)(3FL)の撤去範囲は記載寸法の壁を全撤去とする。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
63	<p>第2ホール客席部の現況・改修後の床仕上が相違しています。 A-028~030図 第2ホール改修 矩計図(現況・改修後) — 現況:ビニル床タイル撤去 改修後:ビニル床シート新設 A-003図 外部、内部仕上表 — 現況:ビニルタイル・VP塗撤去、一部カーペット敷 改修後:ビニル床シート新設、カーペット既存のまま A-027図 第2ホール改修 断面図(現況・改修後) — 現況:床カーペット撤去 改修後:ビニル床タイル 現況:ビニル床タイル撤去・改修後:ビニル床シート新設を正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
64	<p>A-003図 上記に於いて、第2ホールの既存床カーペット範囲がある場合は、下記についてご指示下さい。 ①既存カーペット敷の範囲が不明です。ご指示下さい。 ②カーペット敷部の改修内容は、内部仕上表1より、既存のままとしてよろしいですか。</p>	<p>①客席下部以外の通路部分はカーペット敷き。 ②既存のままとする。</p>
65	<p>A-031図 第2ホール改修 断面詳細図1(現況・改修後)に於いて、既存コンクリートブロック撤去部の押出し成形セメント板T60新設が指示ありますが、下記についてご指示下さい。 ①押出し成形セメント板は、縦張りとしてよろしいですか。 ②押出し成形セメント板足元の詳細が、「B部 部分詳細」と「B'部 部分詳細」の2つ記載ありますが、B'部 部分詳細の該当箇所が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>①よろしい。 ②B'部はS-38図、S-49図の記載の(M3FL伏図)(2E軸組図)X7~8 Y10通りのtb6、tb3が既存RC躯体に接合する箇所とする。</p>
66	<p>S-56図・A-031図 構造図の第2ホール雑詳細図(2):CB撤去後補強要領図に於いて、「コンクリートブロックは耐力を確認の上、適切に補強すること」とありますが、補強要領が不明です。第2ホール改修 断面詳細図1(現況・改修後)では、既存コンクリートブロック撤去部は押出し成形セメント板T60新設となりますが、「A・B・B'部 部分詳細」に図示があるもの以外に必要な項目がありましたら、ご指示下さい。</p>	<p>CBの補強要領は標準仕様書及び工事監理指針、改修工事監理指針に準ずる。 既存コンクリートブロック撤去部の押出し成型セメント板t60新設部は基本的には図示以外にはありません。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
67	<p>A-003・036・037図 外部、内部仕上表1に於いて、第2ホール客席の改修後壁仕上に「一部有孔米松練付合板T6 CL新設」とありますが、第2ホール改修 断面展開図(現況・改修後)では、壁仕上の新設は「米松小巾板T18+CL」・「有孔ケイカル板T6+EP-G グラスウールT50 32KG」の2種のみで、有孔米松練付合板T6+CLが指示ありません。有孔米松練付合板T6+CLが必要な場合は施工範囲をご指示下さい。</p>	<p>有孔米松練付合板は無しとします。</p>
68	<p>第2ホール壁:小巾板の下地合板T5. 5の有無が相違しています。 A-006図 エlement図1 — 有り A-036図 第2ホール改修 断面展開図(現況・改修後) — 無し 有りを正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
69	<p>A-006・036図 Element図1に於いて、壁:3. 米松小巾板部の壁下地構成に「柱90×90@1, 800」、「間柱45×90@450」が指示ありますが、第2ホール改修 断面展開図(現況・改修後)では、下地が「木下地39×22@450」の記載のみで、柱・間柱について指示がありません。柱・間柱は無く木下地が有るとしてよろしいですか。</p>	<p>既設壁(天井)撤去に伴い、改修が必要な米松小巾板壁であるため、木下地@450が取付可能な柱及び間柱の設置は、本工事にて施工が必要です。</p>
70	<p>第2ホール:映写室側面部の現況壁下地厚さが相違しています。 A-028図 第2ホール改修 矩計図(現況) — 有孔ケイカル板T6+グラスウール ガラスクロスT50 A-037図 第2ホール改修 展開図(現況・改修後) — 有孔ケイカル板T6+グラスウール ガラスクロスT50 A-034図 第2ホール改修 映写室詳細図(現況) — 有孔ケイカル板T8+グラスウール充填T150 有孔ケイカル板T6+グラスウール ガラスクロスT50を正としてよろしいですか。</p>	<p>T=8mmとする。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
71	<p>第2ホール投光室下部の改修後天井仕上が相違しています。 A-029図 第2ホール改修 矩計図1(改修後) — 繊維混入石膏板T6+6+内装薄塗材E A-033図 第2ホール改修 断面詳細図3(現況・改修後) — 繊維混入石膏板T6+6+内装薄塗材E A-039図 第2ホール改修 天井伏図(改修後) — 繊維混入石膏板T6+6+内装薄塗材E A-037図 第2ホール改修 展開図(現況・改修後) — GB-R t1 2.5+9.5+内装薄塗材E 繊維混入石膏板T6+6+内装薄塗材Eを正としてよろしいですか。</p>	よろしい。
72	<p>A-003図 外部、内部仕上表1に於いて、改修後第2ホールの廻り縁が「木仕上部除き、PVC(新)」とありますが、木仕上部の廻り縁の仕様・形状が不明です。ご指示下さい。</p>	木仕上部対象箇所は無しとします。
73	<p>第2ホール投光室の現況壁仕上が相違しています。 A-028図 第2ホール改修 矩計図(現況) — 木毛セメント板T30 A-033図 第2ホール改修 断面詳細図3(現況・改修後) — 木毛版T30 AEP A-003図 外部、内部仕上表1 — 合板型枠打放し EP塗装 木毛セメント板T30を正としてよろしいですか。</p>	木毛セメント板t30 AEP とする。
74	<p>A-003・028図 外部、内部仕上表1に於いて、第2ホール投光室改修後壁仕上に「既設部 EP塗替(黒)」とありますが、既設部の該当範囲が不明です。第2ホール改修 矩計図(現況)より、投光室の壁は全面撤去の為、既設部は該当無しとしてよろしいですか。</p>	よろしい。
75	<p>第2ホール映写室の改修後床下地：木床組の米楯根太寸法が相違しています。 A-006図 エレメント図1 — 60×30 A-112図 部分詳細図2:D-008 — 60×30 A-029図 第2ホール改修 矩計図1(改修後) — 60×60 60×30を正としてよろしいですか。</p>	よろしい。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
76	<p>第2ホール映写室周囲:耐火間仕切(強化PB21+21片面張り)の下地が相違しています。</p> <p>A-112図 部分詳細図2:D-008 — LGS65 A-006図 エlement図1 — LGS下地 A-035図 第2ホール改修 断面詳細図4(現況・改修後) — LGS下地 A-002図 仕上特記事項:7. 耐火及び遮音材料等指定リスト — C-100以上 LGS65を正としてよろしいですか。</p>	<p>客席側上部壁は耐火要件を満たすためにC-100とし、その他はLGS65とします。</p>
77	<p>A-028図 第2ホール改修 矩計図(現況)に於いて、X4通り天井内に「フロントスピーカー支持鉄骨撤去」とありますが、詳細及び数量が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>詳細はA-015図とし、数量は2箇所。 なお、架台の撤去は第1ホール、第2ホール共、舞台音響設備工事(舞音-101図)とする。</p>
78	<p>A-034図 第2ホール改修 映写室詳細図(現況)に於いて、X8通り・Y10~11通り間の鉄骨階段が、取外し・再取付けとなり、平面詳細図に「鉄骨階段:CPL-2. 3さび止め塗装、手摺:φ22さび止め塗装」とありますが、下記をご指示下さい。</p> <p>①さび止め塗装は、取外し後に再塗装としてよろしいですか。 ②再塗装の場合は、鉄骨階段の各部寸法をご指示下さい。</p>	<p>①よろしい。 ②A-111 キャットウォーク階段に準じます。</p>
79	<p>木製フラッシュルーバーの下地鉄骨の塗装仕様が相違しています。</p> <p>・A-113図 部分詳細図3:D-015 第2ホール木製フラッシュルーバー — SOP(黒) ・A-039図 第2ホール改修 天井伏図(改修後) — EP塗装(黒) SOP(黒)を正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
80	<p>M-67図 舞台吊物機構 幕地着脱図に於いて、大ホールの下記の寸法が不明です。ご指示下さい。</p> <p>①絞り緞帳 ②暗天幕</p>	<p>①絞り緞帳 幅約20,400 高さ約8,000(舞台上部収納時) ②暗転幕 幅約25,000 高さ約10,500</p>
	<p>(第2ホール改修 建具)</p>	

整理番号	質 疑 事 項	回 答
81	A-044図 SS-1に於いて、シャッターの操作方式が不明です。手動式としてよろしいですか。	よろしい。
82	A-112図 第2ホール映写室のSS-1に於いて、シャッター受けの図示ですが、縦材の部材メンバー・取付ピッチが不明です。□-100×100×3.2@600としてよろしいですか。	取付けピッチはシャッターメーカーの仕様に基づき、施工図等にて決定、承認とする。部材は□-100×100×3.2とする。
83	A-112図 第2ホール投光室のSW-4に於いて、34×25で額縁の指示がありますが、厚さが不明です。スチールT1.6としてよろしいですか。	よろしい。
(第1ホールロビー改修 内部)		
84	第1ホールロビーのX11A~10A通り・Y2通りの天井撤去・改修範囲が相違しています。 A-050図 第1ホールロビー改修 天井伏図(改修後) — 壁際まで撤去・改修 A-049図 第1ホールロビー改修 天井伏図(現況) — 複壁前まで撤去・改修 壁際まで撤去・改修を正としてよろしいですか。	よろしい。
85	改修前天井仕上が相違しています。 A-049図 第1ホールロビー改修 天井伏図(現況) — ヒル石吹付／アルミルーバー／鏡面・ステンレス鏡面天井 A-003図 外部、内部仕上表 — 岩綿吸音板T12／ガラスレスミラー／ヒル石吹付 ヒル石吹付／アルミルーバー／鏡面・ステンレス鏡面天井を正としてよろしいですか。	よろしい。
86	不燃超軽量ガラスレスミラーの目地が相違しています。 A-003図 外部、内部仕上表1 — ゴム目地 A-048図 第1ホールロビー改修 矩計図3(改修後) — 目地:アルミ□-15×15×1.2 ゴム目地を正としてよろしいですか。	目地:アルミ□-15×15×1.2を正とする。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
87	上記に関連致しますが、グラスレスミラーの納まり詳細・取付方法が不明です。ご指示下さい。	メーカー標準納まりとする。
88	第1ホールロビーのCH7, 500部彫込天井の仕上が相違しています。 A-049図 第1ホールロビー改修 天井伏図(改修後) — 岩綿吸音板T12 A-113図 部分詳細図3:D-017・22 — 繊維混入石膏板T6+6 内装薄塗材E 岩綿吸音板T12を正としてよろしいですか。	繊維混入石膏板T6+6 内装薄塗材Eを正とする。
89	A-113図 第1ホールロビーの天井・天井下り壁の軽鉄野縁の施工ピッチが、部分詳細図3の各詳細図で@300とありますが、仕上材がボード2枚張りとなります。施工面から@360としてよろしいですか。	よろしい。
90	A-113図 第1ホールロビーの部分詳細図3:D-019に於いて、天井下り壁スタッドの施工ピッチが@300とありますが、仕上・下地材がボード2枚張りとなります。施工面から@450としてよろしいですか。	ピッチ300とする。
91	A-046・113図 第1ホールロビーの防煙垂壁(高透明不燃シート 固定式H500 スリムパネルタイプ 壁際耐震シート)のメーカー・品番が不明です。ご指示下さい。	メーカーの指定はありません。使用材料承認願を提出のうえ、承認します。
(エントランスホール改修 内部)		
92	A-056図 エントランスホール改修 天井伏図(改修後)に於いて、パネルAが46(うち照明34)、A'が29(うち照明23)と指示ありますが、照明のあるパネルの位置が不明です。伏図で図示ある「●」が照明でしょうか。その場合、Aのパネルが凡例ですと照明34か所の指示ですが、「●」が図示あるのは36か所になります。何れが正でしょうか。	Aタイプ照明は34か所。A'タイプ照明は23か所とする。
(2ホール便所改修 構造)		

整理番号	質 疑 事 項	回 答
93	<p>A-074・075・参考S-02図 便所改修 改修前(撤去)・改修後(新設) 断面図2に於いて、X6~9 通り・Y14~15通り間に配管ピットの指示がありますが、既存参考1階 伏図よりピットの指示がありません。断面図を正とし、ピットありとして見 積してよろしいですか。</p>	よろしい。
	(2ホール便所改修 内部)	
94	<p>A-005図 内部仕上表3に於いて、改修後【第2ホール】浴室の天井仕上がバスリ ブとありますが、廻り縁仕様が塩ビの指示です。天井バスリブに併せ て、廻り縁もバスリブ用としてよろしいですか。</p>	図示のとおりとする。
95	<p>A-005図 内部仕上表3に於いて、浴室天井:バスリブとありますが、メーカー・品 番が不明です。ご指示下さい。</p>	メーカーの指定はありません。使用材料承認願を提出のうえ、承認しま す。
96	<p>第2ホール1階便所の化粧鏡の寸法が相違しています。 ・A-066図 便所改修 平面詳細図・天井伏図・展開図8 — H1, 0 00 ・A-116図 部分詳細図6(便所改修 撤去):KD-3 — H1, 077 H1, 000を正としてよろしいですか。</p>	よろしい。
	(便所改修 構造)	
97	<p>A-115・063図 部分詳細図5(便所改修)のD-042配筋要領図に於いて、既設RC軀 体面(柱面)に横向き接着系アンカーの指示がありません。上向き・下向 き同様に必要としてよろしいですか。</p>	既存鉄筋を残し、フレア溶接とする。不足する部分については、横向き接 着系アンカーを行うこと。
	(便所改修 内部)	

整理番号	質 疑 事 項	回 答
98	<p>既存コンクリートブロック上部・下部RC立上りの高さが相違しています。 A-059図他（第4ホール 1階）便所改修 平面詳細図・天井伏図・展開図1他 — RC立上・垂壁H=200 A-072図 便所改修 改修前(撤去)断面図1 — 下部H=250・上部H=500程度 A-074図 便所改修 改修前(撤去)断面図2【第2ホール客用】 — 立上り無し RC立上・垂壁H=200を正としてよろしいですか。</p>	<p>A-059から071において、CB上部、下部のRC立上り寸法を示す断面図はありません。A-072第1ホール2FWC及びA-074第2ホールともに図示のと通りの寸法とする。</p>
99	<p>A-072図 便所改修 改修前(撤去)断面図1に於いて、2階女子便所1に防水立上り撤去の指示がありますが、防水の施工高さが不明です。上記の質疑と同様に防水施工高さもH=200としてよろしいですか。</p>	<p>H250とする。</p>
100	<p>A-004図 内部仕上表2に於いて、改修後【第1ホール】2階前室天井仕上に有孔ケイカル板の指示がありますが、穴の大きさが不明です。第一ホール客席天井有孔ケイカル板と同様にφ8としてよろしいですか。</p>	<p>φ6とする。</p>
(防水改修 外部)		
101	<p>屋根8の改修方法が相違しています。 A-003図 外部仕上表 — 下地調整の上、DP塗装 A-097図 防水改修 断面図4 — 水洗い 屋根塩ビ鋼板部分が下地調整の上、DP塗装、軒樋ステンレス部分が水洗いとしてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
102	<p>A-083・084図 外壁改修：立面図1（東立面図）及び外壁改修：立面図2（西立面図）に於いて、1階東面X14～15通りAD-1上部及び1階西面X1～2通りSD-20'上部底に改修の指示がありません。下記としてよろしいですか。 ①天端 — 既存塗膜防水水洗い、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 ②見付・上裏 — 高圧洗浄、下地処理の上可とう系改修塗材E</p>	<p>よろしい。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
103	<p>A-089~092図 防水改修 2階~R階・R2階平面図に於いて、ルーフドレインの指示がありますが、立面図に樋の指示の無い、壁型ドレイン~屋内配管樋と思われる下記の箇所の樋改修の有無が不明です。不要としてよろしいですか。</p> <p>①R2階 屋根3-13、3-14、3-15 ②R階 屋根1-4、3-1、3-2、3-3、4 ③4階 屋根2-1、2-2 ④4階 屋根2-6(X15通りY15通り以外) ⑤4階 屋根3-5(X10~11通り側2か所のみ) ⑥3階 屋根2-3、3-7、3-9、3-10、3-11 ⑦3階 屋根3-6(X1通りY9・14通り以外) ⑧3階 屋根3-8(X1通りY5通りのみ) ⑨2階 屋根2-4、2-5</p>	<p>3-13及び3-14は本工事対象外。 平面図にドレン改修のマークがあるものは改修要とする。</p>
104	<p>A-090・089図 防水改修 2階平面図の右上凡例にルーフドレインとありますが、防水改修 3階平面図に於いて、屋根8にルーフドレインの指示がありません。ルーフドレイン・樋共に改修不要としてよろしいですか。</p>	<p>屋根3-10に表記のルーフドレンが改修対象となります。</p>
105	<p>A-089・092図 防水改修 2階平面図に於いて、「※1縦樋受平板ブロックは、一旦取外し、復旧する。」とありますが、配置が不明です。防水改修 R階・R2階平面図屋根1-1部樋他、直下の屋根に放流と思われる箇所全てに必要としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
106	<p>A-089図 防水改修 2階平面図に於いて、「※2設備用配管架台は、一旦取外し、復旧する。」とありますが、配置が不明です。配置or数量をご指示下さい。</p>	<p>設備用配管は別途参考図による。 防水工事時に支障がある架台等を一度取外し復旧する。</p>
107	<p>屋根3-5部ルーフファンのか所数が相違しています。 A-091図 防水改修 4階平面図 — 900角 6か所・1, 100角 7か所 A-093図 防水改修 詳細図 会議管理棟 4階設備基礎一般 — 900角 5か所・1, 100角 7か所 900角 6か所・1, 100角 7か所を正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
108	A-093図 防水改修 詳細図 ホール棟ハト小屋部に於いて、アゴ水切り～壁の塗膜防水の下処理が不明です。他の箇所同様に水洗いとしてよろしいですか。	よろしい。
109	アルミ化粧笠木の改修方法が相違しています。 A-093図 防水改修 詳細図 — 撤去・新設 A-117図 部分詳細図7:KD-11アルミ化粧笠木 — 撤去・新設 A-003図 外部仕上表 — 水洗い A-083図他 外壁改修 立面図1他 — 凡例E水洗い 撤去・新設を正としてよろしいですか。	よろしい。
110	A-117図 部分詳細図7:KD-11アルミ化粧笠木 ジョイント部詳細に於いて、既設シール全て打替えとありますが、アルミ化粧笠木は撤去・新設の為、通常のシーリングとしてよろしいですか。	よろしい。
	(外壁改修 外部)	
111	特A-002図 特記仕様書(改修2)平成29年度の4. 外壁改修工事:8. 設計数量に於いて、モルタル塗り仕上げ面欠損部の備考に「100×100」とありますが、数量が200㎡とありますので、「100×100」は不要としてよろしいですか。	よろしい。
112	A-003図 外部仕上表 笠木に於いて、【改修前】防水モルタル→【改修後】水洗い浮部:エポキシ樹脂注入とありますが、図示がありません。該当範囲・施工範囲をご指示下さい。	工事対象外とする。(展示棟)

整理番号	質 疑 事 項	回 答
113	<p>A-008図 1階平面図に於いて、X6～8通りY2通り及びX10～11通りY13A～15通りにスロープの指示がありますが、改修の指示がありません。下記としてよろしいですか。</p> <p>①床 — 既存モルタル面に高圧洗浄、下地処理の上、ウレタン樹脂系塗床 ②内壁 — 高圧洗浄、下地処理の上可とう系改修塗材E ③外壁 — 高圧洗浄、タイル剥離防止工法(A-084図外壁改修立面図2に指示あり) ④手摺 — ステンレス手摺水洗い</p>	<p>①床 — 水洗い ②内壁 — 高圧洗浄の上可とう形改修塗材E ③外壁 — 高圧洗浄 ④手摺 — ステンレス手摺水洗いとする。</p>
114	<p>A-009図 2階平面図に於いて、X5通りY14A～15通り屋根2-4～屋根2-5通り間に渡り階段の指示がありますが、改修の指示がありません。不要としてよろしいですか。</p>	<p>DP塗装とする。 ササラ: PL3.2加工、段床: 縞鋼板t4.5加工。 W900×L2,700。段幅250とし、段数は4段+2段+平部L1,200とする。</p>
115	<p>上記に於いて、改修が必要な場合は、改修の積算ができる図面をご提示願います。</p>	<p>上記回答による</p>
116	<p>A-083・084図 外壁改修: 立面図1(東立面図)及び外壁改修: 立面図2(西立面図)に於いて、1階東面X14～15通りAD-1下部及び1階西面X1～2通りSD-20'下部小階段に改修の指示がありません。下記としてよろしいですか。</p> <p>①踏面・踊場 — 高圧洗浄、下地処理の上ウレタン樹脂系塗床 ②見付・上裏 — 高圧洗浄、下地処理の上可とう系改修塗材E</p>	<p>A-114図 D-025,026参照。</p>
117	<p>外壁タイル面の改修方法が相違しています。 A-083図 外壁改修 立面図1 — 凡例A タイル剥離防止工法: 特殊繊維強化アクリル樹脂塗布 A-003図 外部仕上表 — 水洗いのみ 水洗い(高圧洗浄)の上、タイル剥離防止工法: 特殊繊維強化アクリル樹脂塗布を正としてよろしいですか。</p>	<p>水洗い(高圧洗浄)を正とする。</p>

整理番号	質 疑 事 項	回 答
118	A-083図 外壁改修 立面図1に於いて、凡例Aのクラック部にタイル撤去とありますが、撤去巾が不明です。ご指示下さい。	クラックの状況によるため、各タイル撤去巾は契約後の施工数量調査結果による。
119	A-083図 外壁改修 立面図1に於いて、凡例目地に「タイル部 化粧目地W10 打継目地W15 タイル部の目地は全てシーリング打替 PS-2」とありますが、タイル部の目地とは、タイル張り部の目地のみとし、タイル裏の躯体面の打継・伸縮目地の打替は不要としてよろしいですか。	よろしい。
120	A-083・084・085図 下記の箇所に豎見切りのような項目に凡例J(既存ステンレス水洗い)の指示がありますが、対象項目が不明です。対象項目及び形状・詳細をご指示下さい。 ①外壁改修 立面図1 東立面図 — 1階東面X1~2通り ②外壁改修 立面図2 西立面図 — 1階西面X5通り ③外壁改修 立面図2 西立面図 — 1階北面Y14~15通り ④外壁改修 立面図3 西立面図 — 1階北面X14~15通り	①壁、柱コーナーL50*50 ②同上 ③同上 ④ステンレス製片引き自動ドア
121	A-084図 外壁改修:立面図2(西立面図)に於いて、X2~4通りに鉄骨補強新設の指示がありますが、仕上がが不明です。DP塗装としてよろしいですか。	よろしい。
122	A-084図 外壁改修:立面図2(北立面図)に於いて、Y9通りに凡例N:既存EXP. J金物水洗いの指示がありますが、当図面に図示のある箇所以外の必要箇所及び改修(水洗い)の有無が不明です。配置及び改修の有無をご指示下さい。	図面以外で必要箇所は無しとします。
123	A-084・110図 外壁改修:立面図2(北立面図)及び耐震改修立面図:(北立面図)に於いて、3・4階Y2~3通り既存ガラリ撤去、AG-1:2か所新設部AG1間の上下の隙間に塞ぎが必要と思われませんが仕様が不明です。ご指示下さい。	新設ガラリは梁形内に納めるため塞ぎは不要です。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
124	<p>A-084・110図 外壁改修：立面図2（北立面図）及び耐震改修立面図（北立面図）に於いて、3・4階Y2～3通り既存ガラリ撤去の上、AG-1:2か所新設となっていますが、既存ガラリ撤去周囲に補修が必要と思われます。モルタル補修W100+吹付タイルとしてよろしいですか。</p>	<p>建具周囲防水モルタル+可とう形改修塗材Eとする。</p>
	<p>（外壁改修 建具）</p>	
125	<p>A-099図 外部既存建具の改修に於いて、シール打替は、建具回りのシーリングと判断し、ガラス回りは不要としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
126	<p>A-099図 外部既存建具の改修に於いて、SW・SD・SCWは、DP再塗装の指示ですが、ガラス面はクリーニングが必要と判断してよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
127	<p>A-083～087・099図 外部ガラス面のクリーニング（水洗い）に於いて、両面クリーニングが必要としてよろしいですか。</p>	<p>外部ガラス面を対象とする。なお、内部ガラス面は内部改修工事対象の部屋はクリーニングが必要。</p>
128	<p>A-099図 外部既存建具のサッシクリーニングに於いて、クリーニングは両面としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
129	<p>A-104図 SD-28'他に於いて、欄間のガラリの仕様が不明です。スチールとし、DP塗替と判断してよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
130	<p>A-104図 建具表1（ホール棟）に於いて、SD-9・20に額入り建具の場所があるようですが、今回の改修範囲外としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
131	<p>1階X15～17通りY15通りSG-3の改修内容が相違しています。 A-099図 1階建具案内図 — 再塗装（DP塗替） A-083図 外壁改修 立面図1 — 水洗い 再塗装（DP塗替）を正としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>

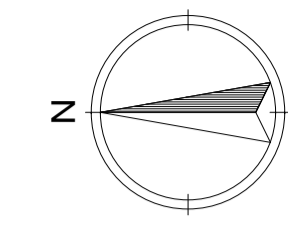
整理番号	質 疑 事 項	回 答
132	A-106図 建具表3(ホール棟)に於いて、SCW-2に一部アルミの指示ですが、どの範囲がアルミか不明です。ご指示下さい。	外部見え掛りCW部の無目、方立てとする。
133	A-109図 建具表6(展示棟)に於いて、SD-17の仕上がステンレスの指示のため、クリーニングとシーリング打替としてよろしいですか。	展示棟は今回工事範囲外。特A-001工事概要 参照。
134	A-109図 建具表6(展示棟)に於いて、AW-10・11の姿図にスチールパネルの指示ですが、スチールパネル部は塗装の塗替は不要でしょうか。必要な場合、スチールパネルの範囲の分かる姿図をご提示下さい。	展示棟は今回工事範囲外。特A-001工事概要 参照。
135	A-110図 AG-1に於いて、防虫網の仕様が不明です。ステンレスとしてよろしいですか。	よろしい。
136	A-110・043図 AG-1に於いて、枠の納まりが不明です。建具特記事項のアルミ製建具枠(一般納まり)とし、額縁は不要としてよろしいですか。	アルミ三方アングル及び水切りを取り付けること。
137	A-04図 建具特記事項に於いて、外部建具廻りに発泡ウレタン充填の指示ですが、仕様が不明です。ノンフロン品としてよろしいですか。	よろしい。
(音漏れ・振動対策 内部)		
138	A-077図 音漏れ対策 平面詳細図(現況・改修)に於いて、改修前平面詳細図のX3通りのSD-1上部垂壁部H500が⑤壁:軽量鉄骨下地・GB-Rt 9.5+12.5の指示ですが、建具横の壁にコンクリート カッター入れの指示がありません。建具上部はLGS、建具横はRC壁で、それぞれ撤去するとしてよろしいですか。	カッター切りはそで壁の根元、柱型との縁切りとして行うこと。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
139	<p>A-077・002図 音漏れ対策 平面詳細図(現況・改修)に於いて、新設・改修項目①と④に塩ビシート貼の指示がありますが、仕様が不明です。仕上特記事項の仕上材料名表示凡例ではビニル床シートはAとBの2種類あります。何れかご指示下さい。</p>	<p>図A-008参照。塩ビシートはA-002 ビニル床シートB t=2.0とする。</p>
140	<p>A-077図 音漏れ対策 平面詳細図(現況・改修)に於いて、改修後平面詳細図に新設・改修項目③壁:軽量鉄骨下地W65 GB-Rt9.5+12.5+EPの指示がありますが、巾木の有無が不明です。ビニール巾木H60が必要としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
141	<p>A-079図 音漏れ対策 天井伏図(現況・改修)に於いて、解体撤去・改修項目⑥天井:岩綿吸音板撤去(下地 現況のまま)、同材貼りとありますが、、下地現況のままの下地とは、LGS下地の事とし、捨張りのボードは撤去・改修するとしてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
142	<p>上記の質疑に於いて、岩綿吸音板はT12、捨張りPBはT9.5としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
(竪樋改修 構造)		
143	<p>A-082・115図 竪樋改修詳細図(現況・改修後) B部 配筋要領図に於いて、壁上部に無収縮モルタルの指示が無く、打設方法が不明です。部分詳細図5(便所改修)D-042に倣い、上部H200部分を無収縮モルタル充填(圧入)としてよろしいですか。</p>	<p>よろしい。</p>
(竪樋改修 内部)		
144	<p>A-082図 竪樋改修詳細図(現況・改修後)に於いて、RC壁一部撤去・復旧に伴い、EV機械室・EVの壁仕上の撤去・復旧が必要と思われますが、EV機械室・EVの現況・改修後の壁仕上が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>EVの壁改修は不要。 EV機械室の壁仕上は化粧型枠コンクリート打放し(現況、改修)とする。</p>

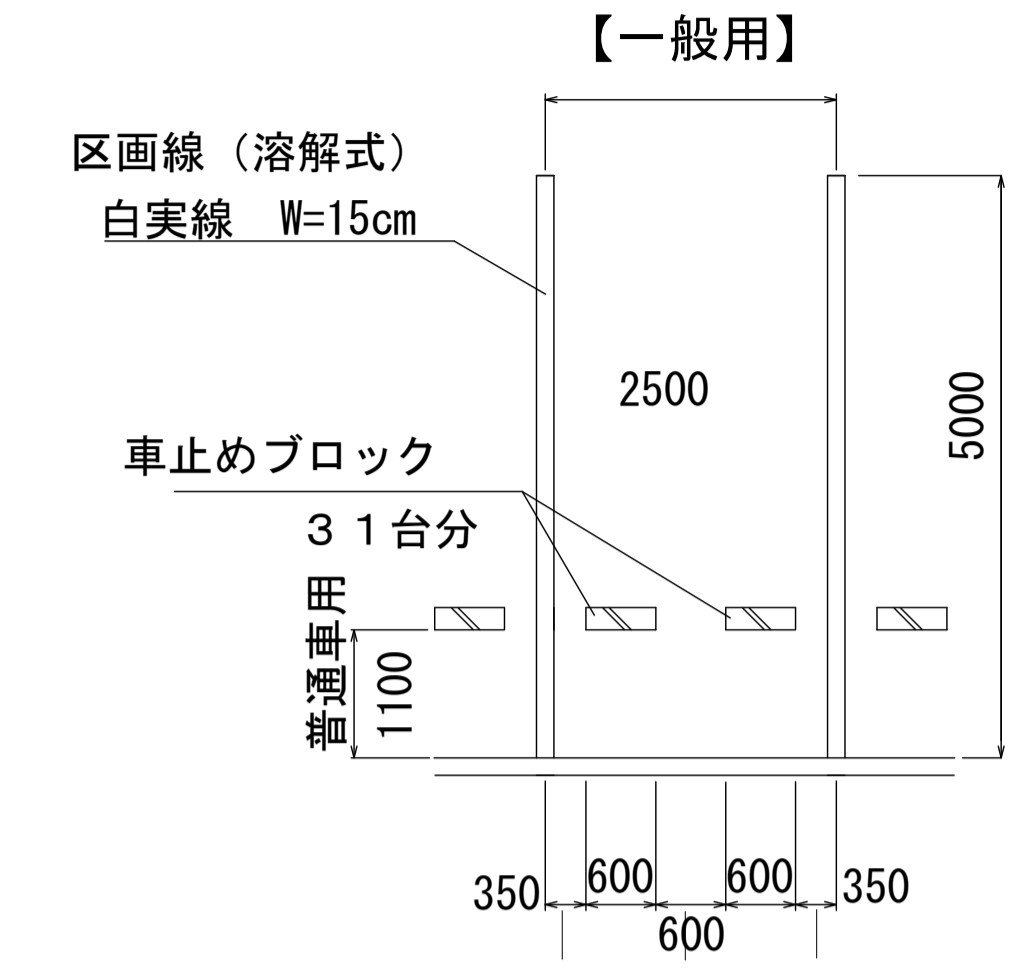
整理番号	質 疑 事 項	回 答
145	A-082図 竖樋改修詳細図(現況・改修後)に於いて、エントランスホール一部床仕上:磁器質タイル200角の撤去・復旧が発生しますが、磁器質タイルのメーカー・品番が不明です。ご指示下さい。	メーカーの指定はありません。使用材料承認願を提出のうえ、承認します。
146	A-082図 竖樋改修 詳細図(現況・改修後)に於いて、B部断面詳細図に引出し線で「既設スチールアングル四方枠 撤去・新設」とありますが、図示の撤去・新設範囲(網掛け範囲)は2辺のみとなっています。引出し線に記載ある4辺の撤去・新設としてよろしいですか。	よろしい。
(耐震改修 構造)		
147	PHR階X4通りY8通りの柱頭補強の有無が相違しています。 ・S-108・118図 PHR階床梁伏図・Y8通り軸組図 — あり ・S-110図 X4通り軸組図 — 無し ありを正としてよろしいですか。	よろしい。
148	S-133図 第2ホール補強詳細図に於いて、C部詳細図の新設B. PL-12の寸法が相違しています。 ・姿図 — B. PL-12×800×200 ・指示寸法 — B. PL-12×500×200 B. PL-12×800×200を正としてよろしいですか。	よろしい。
(耐震改修 外部)		
149	A-110図 耐震改修 立面図に於いて、鉄骨補強新設に伴い、外壁吹付タイルの撤去が必要ですが、撤去範囲は、ベースプレート+片側50mm程度としてよろしいですか。	よろしい。
(外構その他工事 外構)		
150	A-124図 仮設計画図1(参考)において、アスファルト舗装撤去・復旧範囲がありますが、路盤の仕様・厚さが不明です。路盤の仕様・厚さは、RC-40・T150としてよろしいですか。	図A-124については、別添のとおりとする。

整理番号	質 疑 事 項	回 答
151	A-124図 仮設計画図1(参考)において、アスファルト舗装の構成及び厚さに「車道部の基層有り 基層50mm表層30mm」とありますが、基層の仕様が不明です。基層の仕様は、粗粒度アスファルト混合物(20)としてよろしいですか。	図A-124については、別添のとおりとする。
152	A-124図 仮設計画図1(参考)に於いて、駐車場の白線引きの復旧が必要になりますが、仕様が不明です。白線引きの仕様は、W150・溶融式としてよろしいですか。	図A-124については、別添のとおりとする。
153	A-124図 仮設計画図1(参考)に於いて、車止めの撤去復旧の有無が不明です。車止めの撤去復旧範囲は、改修対象建物北側とし、既製品・アンカー止め程度としてよろしいですか。	図A-124については、別添のとおりとする。
154	A-124図 仮設計画図1(参考)に於いて、第2駐車場にアスファルト舗装復旧とありますが、断面が不明です。アスファルト舗装撤去・新設範囲と同一断面としてよろしいですか。	図A-124については、別添のとおりとする。
155	A-124図 仮設計画図1(参考)に於いて、第2駐車場に「※使用后、切込砕石C-40による整地転圧」とありますが、厚さが不明です。切込砕石C-40の厚さはT50としてよろしいですか。	図A-124については、別添のとおりとする。
156	A-124図 仮設計画図1(参考)に於いて、第2駐車場に「トラロープ+金属杭による駐車区域の復旧」とありますが、駐車区画の配列が不明です。ご指示下さい。	図A-124については、別添のとおりとする。
	(設備)	
157	特M-01図「石綿含有分析調査 定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。」と記載有りますが、調査費を見込むものと考えて宜しいですか。	よろしい。 石綿が含有されている場合の定量分析は、定性分析の結果を見て別途協議によることとする。

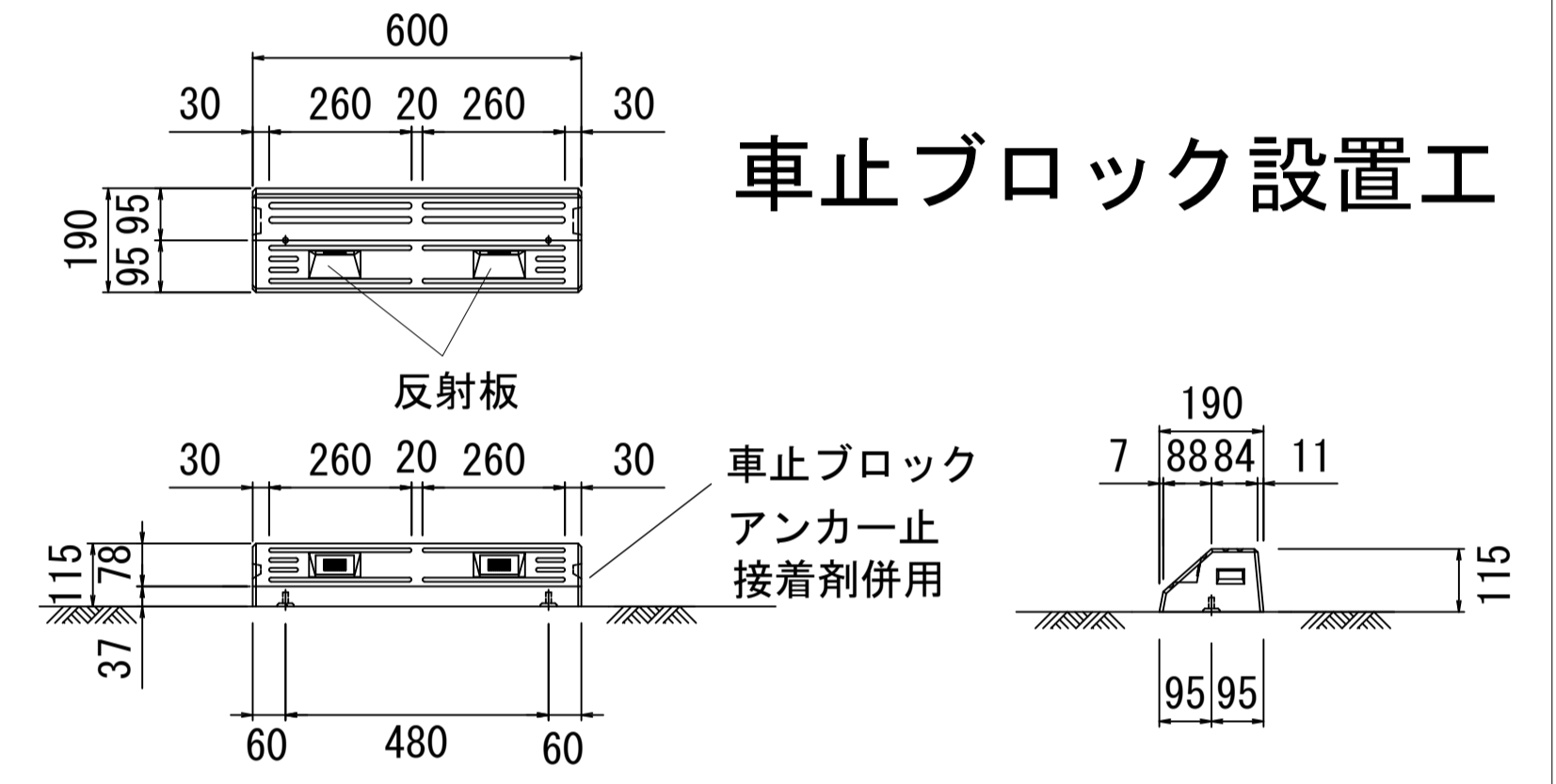
整理番号	質 疑 事 項	回 答
158	特M-01図「撤去工事」に於いて、発生材の処理で引渡しを要するものは無しと考えて宜しいですか。	よろしい。
159	M-29図「第1ホールロビー空調配管(CW,CWR)」は冷却水管と考え、材質は冷温水管(SGP-白)と同じで宜しいですか。又、保温も必要でしょうか。	SGP-白とし、保温を行なうものとする。
	(仮設他)	
160	第1・第2ホール共に、舞台床の最大積載荷重(kg/m2)をご教示願いますでしょうか。	既設木床組は、大引き105×105 @900 ヒノキ、束105×105 @900 ヒノキ根太54×54 @360 ヒノキです。 仮設計画では上記条件を勘案の上床補強等を考慮すること。
161	第1ホール及び、第2ホールの客席につきまして、取外した際の仮保管場所は、提供して頂けるものと考えて宜しいでしょうか。	受託者にて確保すること。



駐車桟 73台分



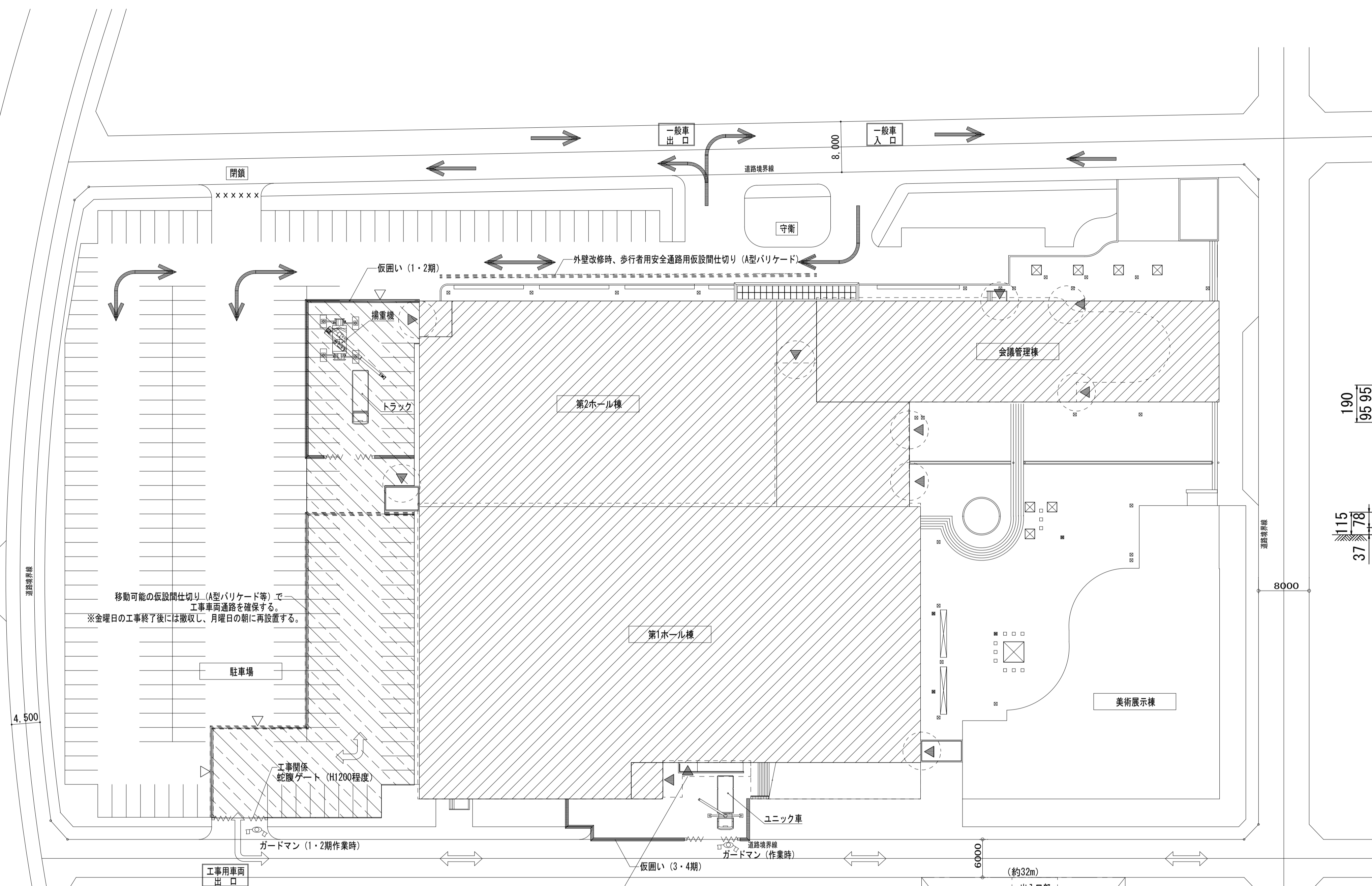
車止ブロック設置工



凡例	
	一般車動線
	工事車動線
	仮囲い (仮囲鉄板H=3.0m)
	ゲート (シートゲートW6000xH4500)
	建物出入口
	外部足場に利用者出入口確保 (H2.1m以上) ※落下物対策を行うこと
	アスファルトカッター切り

※外壁改修時の外部足場の下部H=3.0mまで成型鋼板等による侵入防止対策を行うこと。

	アスファルト舗装 撤去・新設範囲	路盤は既設利用とする。撤去により乱れた路盤材を補充の上転圧すること。(復旧路盤仕様はC-40)
アスファルト舗装		
構成及び厚さ	・車道部の基層なし 基層 - 表層 50mm (22.4.2)	
	・車道部の基層有り 基層 50mm 表層 30mm	
	・歩道部 基層 - 表層 30mm	
配合その他 (22.4.4)		
加熱アスファルト混合物等の種類 (表22.4.6)		
基層	◎粗粒度アスファルト混合物 (20)	
表層	◎粗粒度アスファルト混合物 (13) 又は密粒度アスファルト混合物 (13F)	
	・細粒度アスファルト混合物 (13) 又は細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)	
試験練り	・行う ※行わない	
シーコート	・行う ※行わない (22.4.5)	
切取り試験	◎行う ※行わない (22.4.6)	
平坦性	※通行に支障となる水たまりを生じない程度	
アスファルト混合物の抽出試験	・行う ◎行わない	



移動可能な仮設間仕切り (A型バリケード等) で工事車両通路を確保する。
※金曜日の工事終了後には撤収し、月曜日の朝に再設置する。

※第1ホール利用時は足場設置不可のため、高所作業車等にて対応すること。

出入口部
アスファルト舗装復旧
(路盤 C-40 T=15.0)
(表層 T=5.0 密粒度アスコン (13))
7.2m x 7.5m

※使用後、切込砕石C-40 (T=5.0程度) による整地転圧
トラロープ+金属杭による駐車区域の復旧
(W2.0m x L5.0mの駐車区画 61台分)

改修対象建物

※外壁改修に伴い建物周囲に足場を設置のこと
※外部足場を設置する際、設置部分に樹木がある場合は監督職員と協議の上、剪定を行うこと。